

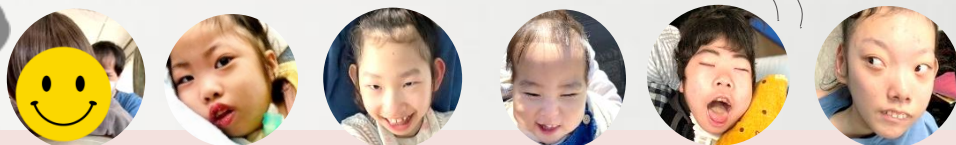


重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

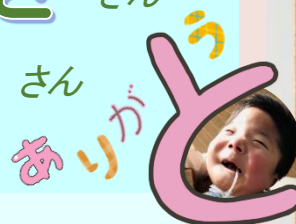
vol.52

2025.5.9



旭川市議会議員 石川 まさゆき さん

はんどリハビリ訪問看護ステーション 久世 昭宏 さん



令和7年4月10日、花色は9年目に入りました。
前日、旭川養護学校の入学式に参列したこともあり、
あらためて こども達の成長を感じ感動しました。

さて、翌11日(金)春らしいあたたかい日に、来客がありました。【旭川市議会議員の 石川 まさゆき さん】と、【はんどリハビリ訪問看護ステーションの 久世 昭宏 さん】です。お二人共“作業療法士”さんです。“こどもの発達支援”にも、とても必要な職種です。生活環境を見直し、心身機能の維持・改善や、日常生活動作の支援をし、豊かな生活を送れるようにサポートしてくれます。

花色のこども達も、あそびの中で「やってみたい!」と思えるように、それを叶える手立てを工夫してくれています。“ワクワク”する気持ちを育み伸ばし、社会参加や、つながりを持つことを助けることを担う素敵なお仕事です。

石川さんと、久世さんは、花色のこども達に会い、“こどもとご家族の目線”で、この地域社会での困りごとについても、耳を傾け真摯に受け止めて下さいました。関心をむけていただく事で、一緒に考えていただける力強い地域の仲間が増えます。こども達とご家族が笑顔でもっと暮らしを豊かに楽しむことができるように願います。石川さん、久世さん、花色に来てくださり有難うございます。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。



しーくん頑張ってるね!

獅立(しりゅう)くんが、自治医科大学附属病院(栃木県)に肝臓移植のため出発して間もなく、<児童デイサービス・りと旭川かぐら>の林さん(管理者)と、道免さんが、千羽鶴を届けにきてくれました。児童デイサービスに通所しているお子様と、同法人が運営している高齢者施設の皆さんが千羽鶴を折ってくれました。ひとつひとつ、愛情がこもった千羽鶴。4月20日(日)に、獅立くんのお父さんに託しました。獅立くんは、5月中旬手術を予定しています。



皆さん
ありがとう

苦情相談窓口です



看護師の若井と 管理者の齊藤です
「相談や苦情、お気軽にご連絡ください」

重度障がい児支援 花色

医療研修 (内部)



5月8日「アレルギーについて」講師：今野NS



今年も
花色の桜が
咲きました



じんくんの
パパとお姉ちゃん



被災地に行って学んだこと

容器はある？

災害がおきると、まず「お水！」と思いますよね。テレビで“被災地の給水の場面”も放送されます。それを見て…いつも思うのですが、各ご家庭で水を入れる大きな容器を用意しているものでしょうか？ もし、車庫や外に放置されており汚れていたら、飲水用のお水としてつかえませんよね。“水を入れる袋や容器”も備蓄品として必要になります。そして、お水が用意できると、お湯を沸かしたくなります。冬期は寒く、配給されるパンやおにぎりは、冷たいので、小さなカセットコンロは準備してあると思いますが、沸かしたお湯を冷めずに保温できる容器と一緒に用意していますか？ わたしが、これまで試した水筒はSTANLEY(スタンレー)でした。翌日の夜までホカホカで冷めません。日常的にもお茶を入れて使っています。

備蓄品を揃えるって、想像力が結構必要になります。「どんな状態の時に、何が必要なのか？」ご家族で話してみませんか。



国産のものを買おう！ 未来の食事を守ろう

かつてJA(農協)に勤めた時、日本史や、地理、簿記、そして自然を学びました。＜農にかかわる＞と、自然の大きさを知り、人間は小さな存在だと改めて実感します。食物の育ちを見て、土に触れ、水や風や日光の有難さと、怖さを深く感じました。そして、より良い収穫のために工夫する事を考え、地域の方々と協力しあう事が身につきます。そのすべてが、生きる意味に繋がっていました。

社会が豊かになる事で、例えばスイッチ一つで何かが始まり、あっさり“終了”する事もできるようになりました。手に入れる事も作業も簡単になり、交流方法も変化しました。便利で有難い社会ですが、それが全てだと“勘違い”をしてはいけません。

自然界に、はたらきかけ作物を生産したり採取する第一次産業は、生命を育みます。生きることや感謝することにも直結する大切な仕事です。この20年で農業従事者は4割も減少してしまいました。

今、私たちができることは、お買い物をする時「一つでも多く、国産のものを購入しよう。」と、ひとり一人が意識する事です。それが第一次産業の生業を守ります。さらに、未来を守ることに繋がります。

子ども達には“生きる術”を身に付けるためにも、自然に触れ、多くを感じ取って欲しいと願います。



職場環境改善構築
チーム (R7.5~R8.3)



親崎・若井（リーダー）・石川です。

重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER

vol.52

2025.5.9



ジェットコースター
の気分を満喫中

April
4月

春のトレンド
サングラス



花より団子
まずはお料理教室



春のお日様も
食べちゃう！
ぱくっ



Zzz

春はねむいよ

夏を先取り！
もう、盆踊りだよ



中学生活始まったよ
あおはるて〜す



おすすめ

北海道のお菓子屋さん



六花亭



北海道

全国に店舗を構える北海道のお菓子屋さんの【六花亭】さん。[マルセイバターサンド]や、[雪やこんこ]等の有名なお菓子が勢ぞろい。今日はその中から個人的にオススメ！する商品。それは・・・「いちご畑」という、瓶詰いちごジャムです。（パッケージは、いたってシンプル。）甘酸っぱいいちごがふんだんに入っていて、とっても美味しいジャムです。六花亭のお菓子というと、“おつかいもの”のイメージがありますが、チラッと冷蔵売り場を覗いてみてください。春はジャムを作ることもあります。これだけの苺を使うのは、ちょっと贅沢でなかなか出来ないなってしまう位いちごの実がたっぷり入ってます。



地域交流の風景

4月25日
折り染め
製作

災害プチ講話は「うがい」でした。

重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER



4月25日(木)
花色の協力医
もみの木アレルギー科こども医院の 岩崎 郁美先生が、
こども達に会いにきてくれました。
毎年会っているゆきちゃんに
「大きくなりましたね～」と驚か
れていました。
なにせ、最初にご挨拶したのが小
学1年生でした。それから、あっ
という間に中学3年生。
それはそれは大きく成長しました。
成長過程で、できる事も増えました。

岩崎先生、いつも気にかけてくださ
り、ご多忙中、足を運んでいただ
き有難うございます。
また、お待ちしております。

岩崎先生 ありがとう



介護職員等がく痰吸引

「介護職員等がく痰吸引等研修」を
昨年、花色も受講をはじめました。
看護職が在籍しているので、これまで
はあえて受講していませんでしたが、
重症児デイの国の方針もあり、
まず管理者の齊藤が受講しました。
講師は、当事業所の今野看護師です。
そして、介護職員等がく痰吸引研修に最
初に協力してくれたのは「れんしくん」です。
「がく痰吸引の先生になってくれる？」と
聞くと、じっと目を見て応えてくれました。

ご家族と主治医の協力もあり、無事研修を修了(合格)し、
「認定特定行為業務従事者」(三号研修修了者)になりました。
続いて今年度は、作業療法士の親崎が受講します。
わたし達は、看護職とは異なるので、ご協力いただける方には、
主治医に定期的に指示書を発行していただき、保護者様にも同意
書をご記入いただく事になります。(但し、実務研修時をふくめて
お子様が緊張したり「イヤだよ。」を発していたら行いません。)
恐れ入りますが、看護職以外が行うがく痰吸引についての協力につ
いて、ご検討をお願い致します。
れんしくん、保護者様、田中先生、ありがとうございます。
これからもご協力お願い致します。



編集後記

今年が始まったと思ったら・・・バタバタしているうちに、
「あれ、もう5月？」
新年度もはじまり、書類づくりもひと段落して突入した
ゴールデンウィーク。
“ちょっと一呼吸おきたい”と思い、
書類の山や、クローゼットの整理整頓と断捨離をし
ました。気持ちがずっと軽くなりました。
いつも、目の前のことでいっぱいになってしまったり、
やらなければならない事で焦っており、
ぼーっとしたり、深呼吸をする時間が無かった気がし
ます。断捨離後、空気を入れ替えていると
うぐいすの鳴き声がしました。
自然のながれを感じ、身をまかせるのも
大切ですね。新年度、皆さまもしっかり休んで、メリハ
リ初夏を楽しんで元気を感じて過ごしてください。
今年度は、私たちなりの支援できるように、身の回りの
絆を深めたいと思います。

～今後のイベント(予定)～

5月14日 大塚製薬による脱水についての講習
6月21日 ワイナリー親子レク

